

# 第44期報告書

2022.4.1～2023.3.31

## 株主メモ

Shareholders Information

### 株主事務手続

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
期末配当支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当支払株主確定日	毎年9月30日
公告方法	電子公告(当社ホームページに記載いたします) <a href="https://www.kyoritsugroup.co.jp/">https://www.kyoritsugroup.co.jp/</a> やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-232-711(通話料無料) 受付時間：平日9:00～17:00
郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

#### 〈ご注意〉

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

#### お知らせ ● 経営情報Monthly Reportについて

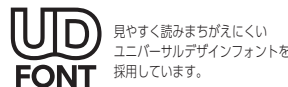
経営情報Monthly Reportは、株主の皆様へ、より当社をご理解いただくとともに、皆様のご意見を経営に反映させていただくことを目的として、毎月当社ホームページ上で掲示しています。ご参考にしていただきたく存じます。



〒101-8621 東京都千代田区外神田二丁目18番8号  
TEL：03-5295-7777(代表) FAX：03-5295-2056  
ホームページ <https://www.kyoritsugroup.co.jp/>



証券コード：9616



## 株主の皆様へ

To Our Shareholders



代表取締役社長  
中村 幸治

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループへの格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が落ち着き始め、徐々に経済活動が正常化しつつも、原材料やエネルギーコストの高騰など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループにおきましては、入国・行動制限の解除などにより国内旅行、海外留学生や香港、韓国、米国を主としたインバウンド需要が高まったことに加え、全国旅行支援などの観光需要喚起策の実施もあり、ホテル事業を中心に業績が回復いたしました。

この結果、当連結会計年度における経営成績は、売上高は175,630百万円、営業利益は7,326百万円、経常利益は7,115百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は4,241百万円となり、連結業績予想を上回り増益となりました。なお、前期に実施した不動産流動化の実施額(売上高37,394百万円、営業利益8,299百万円)を差し引いて比較した運営実績は、売上高39,323百万円増(前期比28.8%増)、営業利益14,195百万円増(前期は6,868百万円の損失)と、実質的には大幅な増収増益という結果となりました。

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行や入国・行動制限緩和による国内旅行、訪日需要が拡大していくものと想定されるなど明るい兆しがある一方で、ロシアウクライナ問題の長期化のように世界情勢の不確実性が高まっており、また国内では、建築費高騰や労働力不足等の問題が深刻化し、事業環境は依然として不透明な状況にあります。このような中、「100年企業」を標榜する当社グループが持続的な成長を実現するためには、これまで培った強みを承継しつつ、マーケットの拡大を図り、将来の環境変化にも打ち勝つ強固な事業基盤を構築する必要があるとの認識のもと、2024年3月期を初年度とする5か年の新たな中期計画「KYORITSU Growth Vision / Rise Up Plan 2028」を策定いたしました。本計画は、長期ビジョンとして「For The Next Future 3&3&3(フォーザネクストフューチャートリプルスリー、2030年、売上高3,000億円、営業利益300億円)」を見据え、「コロナからの回復、そして再成長へ」と「顧客満足度の更なる追求とエリアの拡大」を骨子としており、今後更なる成長に努め、社会価値の向上と株主価値の向上に取り組んでまいります。

何卒、引き続きのご支援を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

## 事業の状況

Segment Review

当期はコロナ影響が落ち着き始め、徐々に経済活動が正常化しつつも、エネルギーコストの高騰など、依然として先行き不透明の中、寮事業では国内需要の取り込みと海外留学生の受け入れ、またホテル事業では国内需要に加え、インバウンド需要の取り込みに取り組んでまいりました。その結果、大幅な増益決算となり、不動産流動化を除いた実質的な回復は本格的なものとなりました。

### 寮事業

売上高503億58百万円  
前期比 6.6%増

4月に全国で合計19事業所、1,921室を新たに開業いたしました。コロナ禍における当社寮事業所の安心・安全性が改めてご評価いただけたことや、国内需要の取り込みに注力したことなどもあり、日本人学生が大幅に増加し期初稼働率は93.5%でのスタートとなりました。一方の留学生に関しましても入国規制の緩和などにより増加傾向が続いた結果、エネルギーコスト上昇等の影響もありましたが、順調に回復いたしました。



### ■ 学生寮事業

売上高280億75百万円

### ■ 社員寮事業

売上高132億93百万円

### ■ ドミール事業

売上高49億45百万円

### ■ 受託寮事業

売上高40億43百万円



アーバンテラス藤が丘

### ホテル事業

売上高1,010億53百万円  
前期比 61.0%増

当期にドリーミーイン事業で7事業所、リゾート事業では5事業所をオープンいたしました。当期におきましては新型コロナウイルス感染症に起因する入国・行動制限の緩和を始め、全国旅行支援などの観光需要喚起策もあり回復トレンドが継続したことに加え、当社ホテルの特徴である温泉大浴場や本格的なサウナを始め、ご当地メニューを中心としたこだわりのお食事や夜鳴きそばなどのサービスが高く評価され、多くのお客様にご利用いただいたことにより稼働率・客室単価が大幅に改善し、大幅な増収増益となりました。

### ■ ドリーミーイン事業

売上高576億65百万円



天然温泉 吉備の湯 ドリーミーイン岡山



天然温泉 七宝の湯 ドリーミーインPREMIUM銀座

《関連グループ会社》(株)韓国共立メンテナンス

### ■ リゾート事業

売上高433億87百万円



定山溪 ゆらく草庵

### 総合ビルマネジメント事業

売上高185億93百万円  
前期比 23.1%増

総合ビルマネジメント事業では、ホテルの清掃業務や建設工事案件が増加したことなどにより、増収増益となりました。

《関連グループ会社》(株)ビルネット・(株)セントラルビルワーク

### フーズ事業

売上高95億28百万円  
前期比 39.6%増

フーズ事業では、ホテルレストラン受託案件の増加やホテル稼働率の上昇による喫食率の上昇及び、外食店舗での営業制限が解除されたことなどにより、増収増益となりました。

《関連グループ会社》(株)共立フーズサービス・(株)共立フーズマネジメント  
(株)共立オアシス

### デベロップメント事業

売上高18億07百万円  
前期比 95.6%減

デベロップメント事業では、前期に実施した不動産流動化の反動減及び建設工事案件が減少したことなどにより、減収減益となりました。

《関連グループ会社》(株)共立エステート

### その他事業

売上高156億84百万円  
前期比 3.2%増

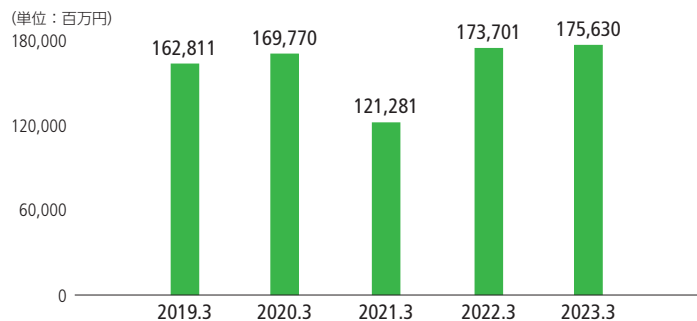
その他事業は、シニアライフ事業(高齢者向け住宅の管理運営事業)、PKP事業(自治体向け業務受託事業)、単身生活者支援事業、保険代理店事業、総合人材サービス事業、融資事業及び事務代行業となりますが、増収減益となりました。

《関連グループ会社》(株)共立トラスト・(株)共立保険サービス  
(株)共立ソリューションズ  
(株)共立ファイナンシャルサービス

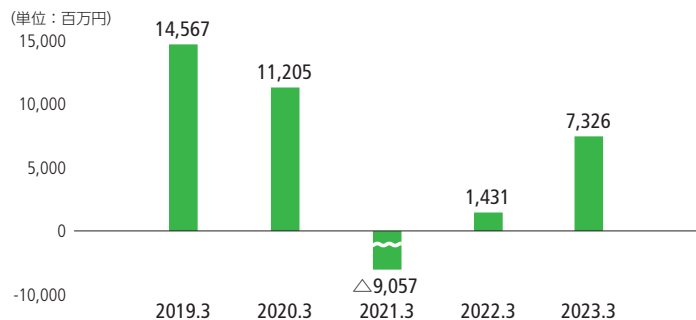
# 連結財務ハイライト

Consolidated Financial Highlights

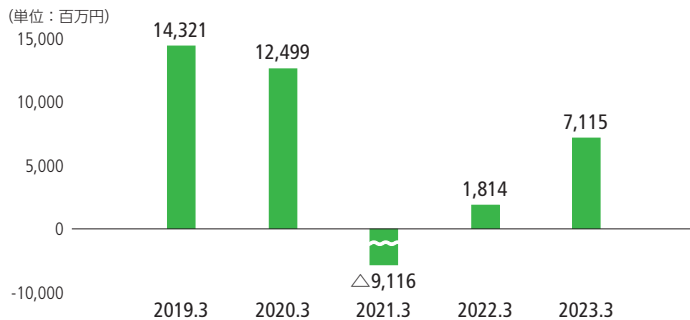
## 売上高



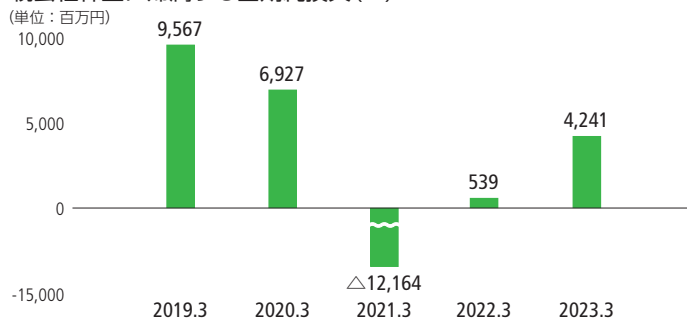
## 営業利益又は営業損失(△)



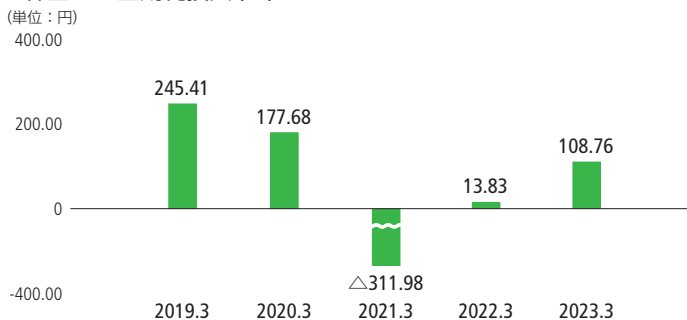
## 経常利益又は経常損失(△)



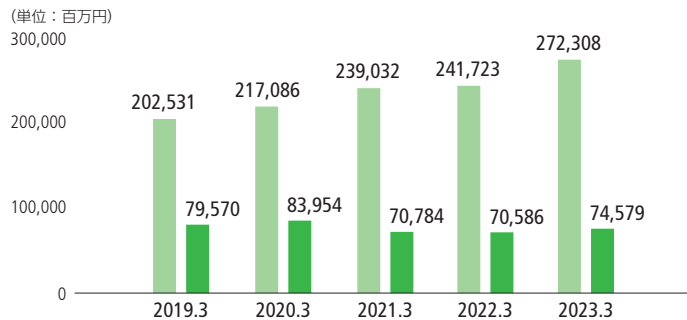
## 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)



## 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)



## 総資産 / 純資産



# 株式の状況 (2023年3月31日現在)

Stock Information

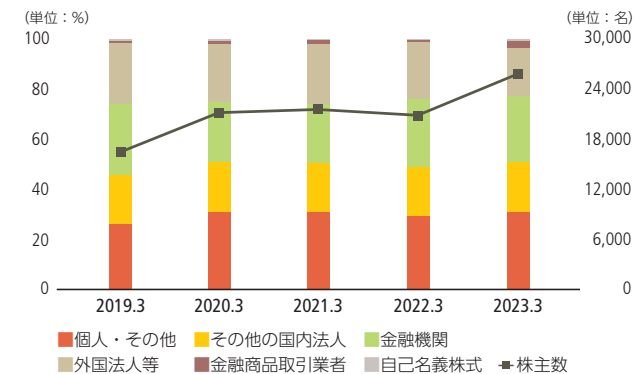
発行可能株式総数…………… 59,000,000株  
 発行済株式総数…………… 39,219,818株  
 株主数…………… 26,043名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	4,423	11.34
(株)マイルストーン	4,242	10.87
(株)日本カストディ銀行(信託口)	2,938	7.53
一般財団法人共立国際交流奨学財団	2,037	5.22
石塚 晴久	1,052	2.69
(株)三井住友銀行	792	2.03
MSP CLIENT SECURITIES 常任代理人 モルガン・スタンレーMUFG証券(株)	746	1.91
日本生命保険相互会社 常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行(株)	548	1.40
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE TAMESIDE METROPOLITAN BOROUGH COUNCIL AS THE ADMINISTERING AUTHORITY OF THE GREATER MANCHESTER PENSION FUND 常任代理人 香港上海銀行東京支店	543	1.39
RBC ISB LUX NON RES/DOM RATE-UCITS CLIENTS ACCOUNT-MIG 常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店	487	1.25

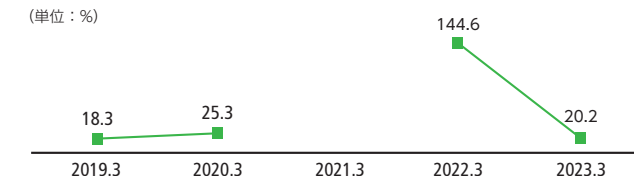
(注) 1. 持株比率は自己株式(219千株)を控除して計算しています。  
 2. 持株比率は小数第三位を切り捨てて表示しています。

## 株主数・所有者別株式分布状況の推移グラフ



## 配当金と配当性向(連結)

2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
年間 45円	年間 45円	年間 20円	年間 20円	年間 22円



※2021年3月期は最終損失のため、配当性向は空白表記としています。

# 連結財務諸表 (要約)

Consolidated Financial Statements

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	2022年3月31日現在	2023年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	72,953	98,802
固定資産	168,264	173,100
有形固定資産	103,218	106,954
無形固定資産	3,384	4,154
投資その他の資産	61,660	61,991
繰延資産	505	405
資産合計	241,723	272,308
<b>負債の部</b>		
流動負債	49,433	67,383
固定負債	121,703	130,345
負債合計	171,137	197,728
<b>純資産の部</b>		
株主資本	70,807	74,322
資本金	7,964	7,964
資本剰余金	12,821	12,862
利益剰余金	50,383	53,845
自己株式	△361	△349
その他の包括利益累計額	△221	256
その他有価証券評価差額金	82	160
繰延ヘッジ損益	225	648
為替換算調整勘定	△583	△589
退職給付に係る調整累計額	53	36
純資産合計	70,586	74,579
負債純資産合計	241,723	272,308

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	2021年4月 1日から 2022年3月31日まで	2022年4月 1日から 2023年3月31日まで
<b>売上高</b>	173,701	175,630
売上原価	151,659	142,871
売上総利益	22,042	32,758
販売費及び一般管理費	20,610	25,431
<b>営業利益</b>	1,431	7,326
営業外収益	1,708	815
営業外費用	1,326	1,026
<b>経常利益</b>	1,814	7,115
特別利益	196	18
特別損失	611	716
税金等調整前当期純利益	1,399	6,417
法人税等	860	2,175
<b>当期純利益</b>	539	4,241
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	539	4,241

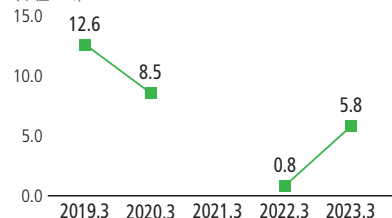
## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	2021年4月 1日から 2022年3月31日まで	2022年4月 1日から 2023年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,721	7,753
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,731	△6,651
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,130	16,982
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	0
現金及び現金同等物の増減額	13,118	18,085
現金及び現金同等物の期首残高	24,212	37,565
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	234	—
現金及び現金同等物の期末残高	37,565	55,651

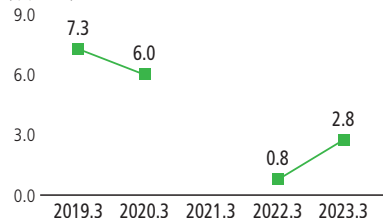
## ROE (自己資本当期純利益率)

(単位：%)



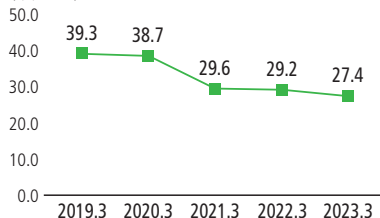
## ROA (総資産経常利益率)

(単位：%)



## 自己資本比率

(単位：%)



※2021年3月期は最終損失のため、ROE及びROAは空白表記としています。

# 会社概要 (2023年3月31日現在)

Corporate Data

商号 株式会社共立メンテナンス

本社所在地 東京都千代田区外神田二丁目18番8号

設立 1979年9月27日

資本金 79億6,498万6,119円

従業員数 5,682名(連結)

支店 札幌支店・仙台支店・名古屋支店・京都支店・  
関西支店・九州支店

## 国内事業所

	関東・ 甲信越	北海道	東北	東海・ 北陸	近畿	中国・ 四国	九州・ 沖縄	総計
学生寮・社員寮・ ドミール	328	24	25	31	66	7	30	511
受託寮	141	10	5	11	57	—	24	248
リゾート	13	5	2	12	4	3	2	41
ドミーイン	23	12	10	12	12	13	8	90
シニア向け住宅	10	1	—	—	—	—	—	11
合計	515	52	42	66	139	23	64	901

※上記のほか、海外にビジネスホテルが1棟ございます。(※韓国共立メンテナンス)

## 役員 (2023年6月28日現在)

代表取締役会長	石塚 晴久	社外取締役	久保 成人
代表取締役社長	中村 幸治	社外取締役	平田 恭信
常務取締役	相良 幸宏	社外取締役	早川 貴之
常務取締役	小原 康緒	社外取締役	小田 恵子
常務取締役	高久 学	取締役 (監査等委員)	上田 卓味
取締役	鈴木 真樹	社外取締役 (監査等委員)	宮城 利章
取締役	君塚 良生	社外取締役 (監査等委員)	川島 時夫
取締役	横山 博		
取締役	百瀬 利恵		
取締役	武者 隆之		